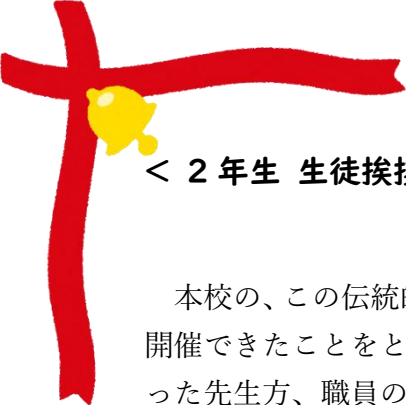




< 2 年 生 生徒挨拶 >

本校の、この伝統的な音楽会という行事、それを途絶えることなく今年もこうして開催できたことをとても嬉しく思います。同時に、この音楽会の開催にご協力くださった先生方、職員の皆様に心からお礼を申し上げます。

合唱もバイオリンも 1 クラスずつとなった今年の音楽会。自分たちで選んだ合唱曲を誰かが教室で口ずさめば、それにあわせて皆が歌い始める、そんな楽しみもありました。クラスごとだからこそ味わえる団結することの大切さに私たちは気付くことができました。

新型コロナウイルスは、私たちに不幸をもたらしたと共に、新たな気づきも与えてくれたと私は思います。

音楽には、人を元気にする力があります。音楽を聴いたり、奏でたりするだけで、私たちは笑顔になります。頑張ろうという気持ちになれます。この状況の中で、私はそんな音楽の偉大さを改めて実感しました。再び皆で歌い、バイオリンを演奏できるようになった時のことを私はよく覚えています。一人で練習を積み重ねることほど、厳しいものはありません。その辛さを乗り越えた後の喜びは、ひとしおでした。

時代と共に風潮は変わります。廃止されたものも今年は増えました。ですがその中で継承すべきもの、やめてはならないものもあると私は思います。

そのうちの一つがこの、音楽会です。例年通り行うことは叶いませんでしたが、新たな音楽会の形、在り方を見つけることができ、今年の音楽会はとても意味のあるものであったと実感しています。

音楽は、暗闇の中でも答えを見つけようともがく私たちに、きっとエールをくれます。大切なことを教えてくれるはずです。だから今は、そんな力を信じて、前に進み続けましょう。この 2 ヶ月間、みんなで歌ったこと、バイオリンを演奏したことを忘れないでください。その幸せを、当たり前を感じてはいけないと私は思います。

1 年後、今度は 3 学年全員がこの大ホールに集まって演奏できる日を、楽しみにしたいと思います。

